

会員の
ひろば

私のお薦めコーナー

加藤 美穂子

今回は、札幌市の隣町、人口約6万人の石狩市をご紹介します。石狩浜海水浴場(あそびーち)や温泉などを訪れたことがある方も多いのではないのでしょうか。石狩=鮭、というイメージが強いと思いますが、松前藩の入植により、鮭の交易で栄えたことが由来となっているそうです。もちろん今でも北海道の郷土料理でもある石狩鍋を提供する老舗料亭があります。あいはら(石狩市弁天町)、金大亭(石狩市新町)などが有名です。各々お薦めの石狩鍋レシピがありますので、以下のHPをご参考にして下さい。この他には、231号線沿いにある佐藤水産が経営するサーモンファクトリーでは、石狩で水揚げされるカレイやシャコなどがこれからの季節は安く手に入れることが出来ます。また、4月上旬ごろから7月まで、石狩湾新港の東ふ頭付近では朝市を開催しており、新鮮な魚介類を販売しています。厚田漁港でも朝市をやっていますので、早起きをして両方見比べてみるのも楽しいかもしれません。

石狩は農業も盛んで、米、小麦、人参などは北海道の中でも作付面積が多く、ゆりやかすみ草、カーネーションなども栽培されています。これらはJAの“とれのさと”(石狩市樽川、石狩手稲線沿い。4/11より営業)で販売しております。この“とれのさと”では、石狩産の野菜やお花だけではなく、“望来(もうらい)豚”やその加工品、一部札幌近郊で収穫や水揚げのあった農作物、魚介類なども販売しています。特に6月頃から地物のアスパラガスなども出回ります。地方発送もしてくれますので、北海道の味を道外の方に贈ると喜ばれるかもしれません。

最後に、石狩の自然について紹介します。ミズバショウの群生地として有名なマクンベツ湿原があります(国道231号を浜益方面に向かうと途中で標識があります)。木道が整備されたため、散策しながら



とれのさと外観

らミズバショウはもちろんのこと、ザゼンソウやカエルの卵なども探しながら歩くのは楽しいです。この号が発刊されるころにはもう時期が過ぎてしまっていますが、毎年5月の連休ごろにはミズバショウが見頃を迎えます。さらに少し足を伸ばすと、はまなすの丘公園にも辿り着けます。こちらにも長い遊歩道がありますので、石狩灯台を眺めながら砂地に群生する海浜植物もじっくり観察出来ます。6月には潮風に乗って満開のハマナスのいい香りも楽しめます。ヒバリの鳴き声を聞きながらカメラ片手に歩いてみてはいかがでしょうか。

歩き疲れたら、公園敷地内にあるビジターセンターに寄ってみてください。センターの中では、歌人 俵 真智が石狩を題材に詠んだ短歌が紹介されています。ハマナスソフトクリーム片手に一休みされてみてはいかがでしょうか。

石狩観光協会 HP

http://ishikari-kankou.net/contents/ishikari_nabe/index.html

とれのさと HP

<http://torenosato.blog.fc2.com/>

加藤 美穂子(かとう みほこ)

技術士(生物工学部門)

株式会社フロンティア研究所